

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2018年8月16日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	国際文化交流学科・専攻	3年次
派遣先大学	クラウスタール工科		10ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例：ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LKD）、広さなど (キッチン・風呂・トイレ共同、5畳程の広さ、寮の住人は世界各国からの留学生)
3	入居時手続き	例：Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (Studentenwerk でデポジットを払い、鍵を受け取る。)
4	費用（月額）	225 (ユーロ) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	月ごとに銀行振り込み (例：月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例：近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (近隣にはスーパーは3軒、電車は通っておらず、Kronenplatz というバス停から徒歩で20分)
9	アクセス	例：大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (寮は大学の敷地内にある、Goslar という電車の駅か Kronenplatz まで30分・4.1€。Kronenplatz から1.8km)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して) : (寮生は最大20人で、個別の部屋にはベッド、洗面所、机、クローゼット、本棚のみあり、あとは全て共同となるので共同生活が苦手な人には完全一人部屋をお勧めします。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	例：ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LKD）、広さなど ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (寮から一番近い電気屋に行きSIMを購入)
4	自宅のインターネット接続環境	有線（プロバイダは別途契約）
5	大学内インターネット接続環境	有線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	225 (ユーロ) /月
2	食費	120 (ユーロ) /月
3	交通費	10 (ユーロ) /月
4	通信費	10 (ユーロ) /月
5	娯楽費	100 (ユーロ) /月
6	図書費	(ユーロ) /合計
7	学用品（教科書など）	(ユーロ) /合計
8	被服費	500 (ユーロ) /合計
9	医療費	(通貨入力) /合計
10	雑費・その他	() /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	(通貨入力) /合計
12	ビザ申請関連費	(通貨入力) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	140,000 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	(通貨入力) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：50,000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：福岡銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	銀行の窓口で口座を開く。寮の宿舍費を支払うために必要だったが、英語での銀行口座についての説明書はないため利用しづかった。
19	お金に関するアドバイス	無駄遣いしない限り、神奈川大学の奨学金で十分賄える

(今後留学をする学生に対して)	と思います。余ったお金は毎月貯金して、旅行などに充てると良いと思います。
-----------------	--------------------------------------

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	(L2プラン・10か月分で124,028円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	選択してください。
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	選択してください。 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	特にありません

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの	服、ドライヤー、薬、日本食、パソコン、電子辞書など
2	現地で購入したもの	冬用のジャケット・ブーツ、SIMカード、服、タオルなど
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの	自分のサイズに合った靴

VI. 留学先で困ったこと

WiFiの繋ぎ方

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

WiFiを繋ぐときは周りの人に頼ったほうが早いです。使えるようになるまで時間がかかるので、あらかじめ自分で携帯のデータ通信をできるようにしておくと便利です。
--

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	3 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Geoenvironmental Engineering	履修言語	英語・ドイツ語	
留学期間	2018年10月～2019年7月			
報告書提出日	2019年8月19日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を加除できる。XX先生に相談し、……
Winter Semester	10月1日 ～3月31日 (23週)	2月1日 ～2月15日	英語・ドイツ語の語学コースに関しては診断テストを受け、自分のレベルに合わせて履修する。その他の科目に関しては Studip という大学のサイトからシラバスを確認し、自分で時間割を組み立てる。Semester期間中はいつでも履修した授業を削除できる。
Summer Semester	4月1日 9月31日 (26週)	7月8日 ～7月23日	Winter Semester と同様

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。			

【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は[⑥] 【参考資料】授業時間数について】をご参照ください。
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	
Winter Semester	English Grammar	39 時間	授業は月曜日・水曜日に 1.5 時間ずつ。内容は英文法についての講義・演習で、60 分の講義の後、各自オンラインでの演習に取り組む。期末試験の勉強としては、オンラインの演習を念入りに復習すること。
		1,5(時間/回) × 2(回/週) × 13(週)	
Winter Semester	English Refresher	39 時間	授業は火曜日に 3 時間。内容は英語の記事や動画で社会問題や国際関係について学び、グループディスカッションやプレゼンテーション、英作文で自分の意見を発表する。期末試験の内容は授業とは異なるため、試験前に配られる英文法や英作文の演習の問題集を念入りに復習すること。期末試験の一部である個人のプレゼンテーションは自由課題で一人 10 分の発表となる。
		3(時間/回) × 1(回/週) × 13(週)	
Winter Semester	Deutsch A1.1	55 時間	授業は火曜日・木曜日に 2.5 時間ずつ。内容はドイツ語の講義・演習。また、講義は英語で行われる。期末試験の勉強としては、教科書と毎回配られるプリントの教材を念入りに復習すること。
		2.5(時間/回) × 2(回/週) × 11(週)	
Winter Semester	Health, Safety and Environmental Management	14 時間	授業は水曜日に 1.75 時間。内容はエンジニアリングの現場における環境への配慮、作業員の健康・安全についての講義で、期末試験の勉強としては、授業毎に配られるプリントの教材を念入りに復習すること。
		1.75(時間/回) × 1(回/週) × 8(週)	
Winter Semester	Bauch-Beine-Po Body Workout	11.25 時間	授業は水曜日に 0.75 時間。内容は特に腰・腹部・脚を鍛えるエクササイズ。ドイツ語で行われる。試験などはないため単位には換算されない。
		0.75(時間/回) × 1(回/週) × 15(週)	
Winter	Yoga- Hatha	15 時間	授業は金曜日に 1 時間。精神を落ち着かせて体全体をほ

Semester		1(時間/回) × 15回/ 週) × (週)	ぐすことが目的である Hatha という種類のヨガのエクササイズ。ドイツ語で行われる。試験などはないため単位には換算されない。
Winter Semester	Workshop: Intercultural Competence	25 時間	授業は金曜日に 5 時間。内容は英語で国際文化について学び、グループでそれに関するテーマについてプレゼンテーションを行う。各グループ 25 分のプレゼンテーションと 90 分のアクティビティを準備しなければならない。期末試験は行われず、プレゼンテーションとアクティビティの内容、最後に提出する自分の身の回りの国際的な施設や物について紹介するレポートによって評価される。
		5(時間/回) × 1(回/ 週) × 5(週)	
Summer Semester	General English	42 時間	授業は月曜日に 3 時間。内容は英語でドイツの政治や教育システムに関する記事を読み、他国のものと比べ、自分の考えを英作文で述べたり、グループでそれに関するテーマについてプレゼンテーションを行う。期末試験の内容は授業とは異なるため、試験前に配られる英文法や英作文の演習の問題集、またオンラインの演習を念入りに復習すること。期末試験の一部である個人のプレゼンテーションは自由課題で一人 10 分の発表となる。
		3(時間/回) × 1(回/ 週) × 14(週)	
Summer Semester	English Refresher	42 時間	授業は火曜日に 3 時間。内容は英語の記事や動画で社会問題や国際関係について学び、グループディスカッションやプレゼンテーション、英作文で自分の意見を発表する。期末試験の内容は授業とは異なるため、試験前に配られる英文法や英作文の演習の問題集を念入りに復習すること。期末試験の一部である個人のプレゼンテーションは自由課題で一人 10 分の発表となる。
		3(時間/回) × 1(回/ 週) × 14(週)	
Summer Semester	Deutsch A1.2	75 時間	授業は火曜日・金曜日に 2.5 時間ずつ。内容はドイツ語の講義・演習。また、A1.2 のレベル以上になると講義もドイツ語で行われる。期末試験の勉強としては、教科書と毎回配られるプリントの教材、オンラインの演習を念入りに復習すること。
		2.5(時間/回) × 2(回/ 週) × 15(週)	
Summer Semester	Technical Writing	21 時間	授業は水曜日に 1.5 時間。内容は大学院生向けの英語での卒業論文や就職活動の際の企業への正式な手紙・履歴書の書き方、専門的な英文における英文法についての講義・演習で、毎授業後に、各自オンラインでの演習に取り組む。期末試験は行われず、①自分がこの授業を通してどう成長したか ②ある研究に関する学
		1.5(時間/回) × 1(回/ 週) × 14(週)	

			術論文の一部を自分の言葉に言い換えて再度説明する ③企業への就職の依頼の手紙と履歴書を書く、この3つの課題を提出し、これらによって評価される。
Summer Semester	English For International Commerce – TOEIC Preparation	35 時間	授業は水曜日に 2.5 時間。内容は TOEIC の演習と解説。期末試験の勉強としては、授業内でやった練習問題とオンラインの演習を念入りに復習すること。また、試験は 2.5 時間で、TOEIC 本番と同じようにリスニング、スピーキング、ライティング、文法全ての問題が出題される。
		2.5(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Summer Semester	English Conversation	21 時間	授業は木曜日に 1.5 時間。内容は社会・環境問題や歴史上の人物のスピーチを聞き、それに対する自分の考えを個人やグループディスカッション、プレゼンテーションで発表する。期末試験は行われず、授業に対する意欲と授業内にどれだけ話せるかによって評価される。
		1.5(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
Summer Semester	Salsa, Kizomba	36 時間	授業は金曜日に 2 時間。内容はサルサとバチャータのダンスのレッスン。英語で行われる。試験などはないため単位には換算されない。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

英語に関しては、毎授業後に配られる教材を見直し、知らなかった単語や文法を毎授業後に勉強した。また、オンラインでの演習も知識を定着させるのに役立った。また、私の場合特にスピーキング力を高めたかったので、毎日たくさんの人と話すように心がけていた。ドイツ語に関しては、授業で使うドイツ語の教材のほかに、より理解しやすい日本語の教材で復習をした。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

（英語）留学初期は日常会話もままならず友達が言っていることも半分ほどしか理解できず、携帯や銀行口座を作るのにもとても苦労したが、悔しさをバネに毎日自習をすること、とにかく英語を話すこと、音楽を聴く代わりに英語のポッドキャストを聞くということをした。現在は英語での会話に不自由することはほとんどなく、辞書を引く回数も減った。何より友達との会話を楽しめるようになったことにとっても喜びを感じる。

（ドイツ語）会話はレストランなどでの簡単なものしかできないが、単語や文法的な知識は身につけてきたと思う。授業の復習のほか、アプリを使っての1日15分間の学習も続けた。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

いろいろな語学学習の方法を試した結果、1.3. で述べた学習方法が自分に合っていることが分かり、学習を続けた結果、英語が前より話せるようになっていたり、ドイツ語での表示や文章、アナウンスが少しずつ理解できるようになっていたり、毎日の生活からだんだん不自由なことが減っていくと同時に自分の語学力の向上を感じた。また、授業を通してドイツやヨーロッパ諸国の社会や政治、文化についても知ることができ、個人的に興味を持ち、それらについてより詳しく調べたり日本との違いを探したりしたため、それらの地域についての知識も大いに深まった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

特に英語に関してだが、留学前にある程度の会話力を身に付けておくべきだったと後悔した。最初に人の言っていることが理解できないと、生活する上で苦勞するし、人間関係を築くのにも時間がかかる。さらに、他国からの留学生は驚くほど多言語を流暢に話すので、強い劣等感を感じることになる。文法や専門用語については留学中に授業で学ぶことができるので、まずある程度の会話は交わせるレベルの英会話力を身に付けてから留学することをお勧めする。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

初めて日本を出て海外で生活する中で、いろいろな人に出会い、日本とは全く異なる人の考え方や文化に触れることで、自分を客観視することができるようになった。同時により広い視野で物事を見て、考える力が身についた。また、様々な国籍の友達もたくさんでき、一緒に生活する中で彼らが外国人だとは思えないくらい深い関係を築くことができ、本当に充実した10か月間を過ごすことができた。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留學生活での反省点は、長期休暇中に勉強が疎かになっていたことだ。長ければ3カ月間の夏休み・冬休みがあるが、有意義に過ごせるように休暇前にしっかりと計画を立てて遊びと勉強を両立できるようにしておくことをお勧めする。また、留學前にドイツ人の生活スタイルや電車の乗り方、買い物の仕方など、日常生活についてある程度知っておくと現地でのカルチャーショックを減らすことができ、よりスムーズに生活に適應できると思う。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留學修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。